

インターロッキングブロック (スタンダード・ブラスト)

●特長

1.豊富な形状とカラー

形状とカラーが豊富で、多種多様な現場に対応することができます。

2.実績

インターロッキングはこれまでに数多くの実績がある、一般的な製品です。

3.透水性

透水性タイプもご用意しております。

「ウォータースルー (透水性)」、「アクアス (ショットブラスト透水性)」

4.経済性

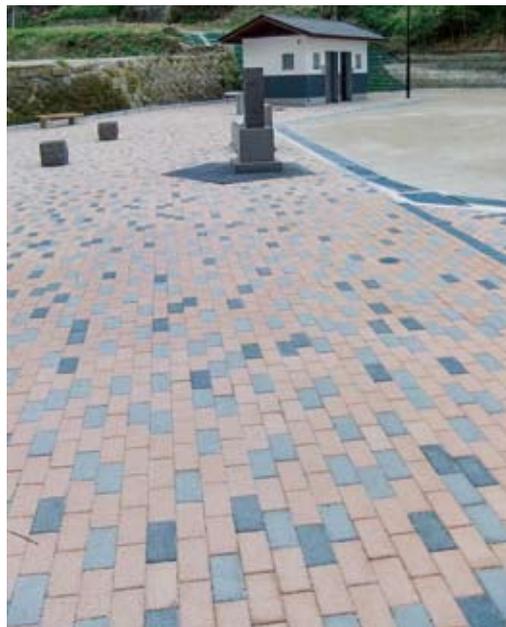
スタンダードは比較的安価で経済性に優れています。

5.自然で柔らかい表情(ブラスト)

ブラストは表面がショットブラスト加工になっており、従来のインターロッキングブロックにはない自然で柔らかい表情を持っています。

6.摩擦抵抗が大きい(ブラスト)

ブラストは表面がショットブラスト加工による適度な凹凸により、摩擦抵抗が大きく、雨天でもすべりを防止し、快適な歩行感を提供します。



スタンダード

●ストレート型



●平板型



ブラスト

●ストレート型



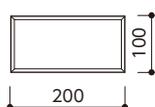
●平板型



基本形状図

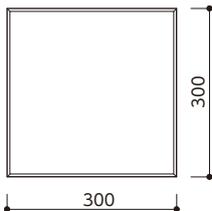
形状・寸法

●ストレート型



使用量 (個/m²) = 50
T=60・80

●平板型



使用量 (個/m²) = 11.1
T=60・80

■製品タイプと受注生産品

製品名称	透水性	ショット ブラスト	製品厚 (mm)	
			60	80
スタンダード			標準品	受注生産
ウォータースルー	●		受注生産	受注生産
ブラスト		●	受注生産	受注生産
アクアス	●	●	受注生産	受注生産

※大型車両が乗入れする箇所では、平板型は破損の恐れがありますので、ストレート型の使用をお勧めいたします。

カラーバリエーション(スタンダード)

印刷の関係で実際の製品とは若干異なります。



オフホワイト

ライトグレー

ダークグレー

サンド

オーカー

ブラウン

ダークブラウン

レッド

カラーバリエーション(ブラスト)

印刷の関係で実際の製品とは若干異なります。



オフホワイト

ライトグレー

ダークグレー

サンド

オーカー

ダークブラウン



視覚障害者用誘導ブロックとその周辺の舗装材に対して輝度比を要求される場合の配慮について

「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」(国土技術研究センター発行)において、「一般的に視覚障害者誘導用ブロックは黄色と認知されており、黄色が良いとする意見も多いため、黄色を基本とするが、路面の色彩が類似している場合、周囲の路面との輝度比を2.0程度確保することにより視覚障害者誘導用ブロックが容易に識別できることが必要である。」と記載されており、舗装材の割り付けにおいて「輝度比」を要求される事例が増加しつつあります。

輝度比2.0といっても、気象状況、舗装材の湿潤状況、経年変化(特に鹿児島県や宮崎県南部では降灰の問題)もあり、輝度比を特に要求される事例においては、新材計測時の輝度比3.0に近い色の組合せを推奨致します。

※詳しくは営業担当にご相談ください。

【輝度とは】

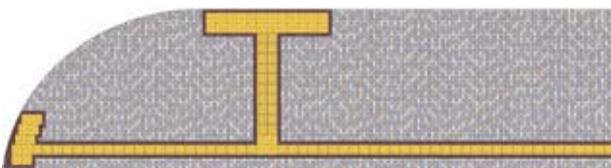
観察者から見て対象がどのくらい明るく見えるかを示すもので、対象の色や照明の強さによって変化します。同一の照明の下で2つの対象物の輝度を測定して輝度比を求めることができます。輝度比の求め方は何種類ありますが、誘導ブロックと周囲(歩道路面)の輝度を測定してその比を求めるのが単純な方法です。輝度の比が大きいほど明暗のコントラストが大きくなります。

$$\text{輝度比} = \frac{\text{誘導用ブロックの輝度 (cd/m}^2\text{)}}{\text{歩道路面の輝度 (cd/m}^2\text{)}}$$

cd/m²:輝度の単位
光源の表面の明るさの度合いを表す数値で、単位面積あたりの光度(cd:カンデラ)の度合いで決まる。

【輝度比を考慮した割付図例】

スタンダードの「ライトグレー」「オフホワイト」「サンド」を基調にした舗装パターンだが、「誘導ブロック」の両脇に「ダークブラウン」を敷設する事で、輝度比を強調。



プラストの「サンド」「オーカー」を基調にした舗装パターンだが、「誘導ブロック」の両脇にスタンダードの「ダークブラウン」を敷設する事で、輝度比を強調。

